



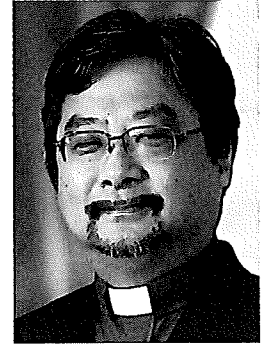
社会福祉法人

るうてるホーム 法人報

聖書の教えに従って
お客様を敬い、
お仕える

ジョージのつぶやき

2020年9月、RO委員会（「RO」は「るうてるホームをおもしろくする」の略）によって、るうてるホームのウェブサイトが新しくなりました。二年間の準備期間を経て、ホームで行われている多様な活動を外に発信する新しい私たちのホームページがスタートしたことになります。委員会からの依頼もあって、シャイな私も重い腰を上げて「ジョージのつぶやき」というツイッターを始めさせていただきました。140字以内で「つぶやく」ことも次第におもしろくなってきたのです。ある意味牧師は「み言の職人」。ピッタリ140字になるよう妙にこだわっている自分がいて、そこは笑いながら楽しんでます。日常生活に光を当て、あたりまえのことが実はかけがえのないことでもあるということの再発見です。「青い鳥」ではないですが、人生のおもしろさは既に初めから私たちのすぐそばにあるのに、私たちがそれに気づいていないだけなのかもしれませんね。もちろん「つぶやき」と言っても自己完結した独白ではなくて、開かれた対話（オープンダイアログ）を目指していますので、リアクションやアイデアなどがありましたらぜひお寄せいただければ幸いです。



理事長・チャプレン
大柴 譲治

対面でもリモートでも、今は「双方向のコミュニケーション」を大切にするコラボ（協働）の時代。まずはリモートでのかたちではありますが、この6月からは新しく上智大学グリーンケア研究所からの実習生を二人、ホームで受け入れ始めました。各100時間の実習です。私たち一人ひとりが持つスピリチュアルニーズを意識し、魂の次元での相互的なケアを目指してゆきたいのです。そのためにも「共感的な受容と傾聴」の姿勢が求められてゆきます。人と人とのつながりを分断する新型コロナウイルスの世界的なパンデミック。ワクチン接種が始まっていますが、それがいつまで続くかなかなか終わりが見えてきません。しかし、そのような状況下にあっても私たちは、しぶとくしなやかに、めげることなく賢くあり続けたいと念じています。

「みんなちがって、みんないい」という金子みすゞさんの詩にあるように、私自身も「みんなちがって、みんなおもしろい」と思っています。いろんな個性、いろんな意見、いろんな感じ方があってよいのです。虹に七色があるように、私たち人間も多様であり多彩です。たとえ生きづらい現実が私たちの目の前にあったとしても、一人ひとりが持つ多様性を持ち寄り、互いに楽しみつつ、支え合い補い合うことで、地上に七色の虹を見ながら共に歩むことができる。それを通して私たちのレジリエンス（逆境力）は高まり、生の味わいも深くなると信じます。「ジョージさん、大変ですよ。今、るうてるホームがおもしろい!」。そんな声が聞こえてきそうです。ぜひ私たちの新しいウェブサイトをご覧ください。

2020 年度事業報告・決算と 2021 年度事業計画

常務理事 石倉 智史

2020 年度は、幹部候補者の育成を兼ねて現中期経営計画の評価、検証と次期中期経営計画の策定に向けて議論を重ね、理事会の承認を経て策定することができました。

感染症対策に翻弄される中ではありましたが、職員一人ひとりが真摯かつ前向きに事業へ取り組み、お客様を守ることができたことは大いに評価できるものであり、刻々と変化する状況に対応していく各事業部の組織力、課題解決力が向上したことも評価できることと思います。

事業推進面ではホームページのリニューアルオープンや全職員を対象としたスピリチュアルケア研修の実施、障害者雇用に向けた取り組みをすすめ 3 名の雇用を実現できたことなど、何かと制限を受けながらも確実にすすめることができました。

特に第三者評価は「ジョイフルるうてる（障害福祉サービス）」が受審し、4 年間かけて法人内対象事業のすべて受審することができました。今後はそれぞれの課題改善に向けての取り組みが期待されているところです。

2021 年度は第 3 期中期経営計画（右表）の初年です。前期経営計画期間における課題を次期幹部育成の機会とともに組織的に取り組み、新たな決意をもって計画をすすめて参ります。特に人材確保、育成や経営基盤の安定化は早期に解決が必要な大きな課題となっています。多様な地域ニ-

ズ・利用者ニーズに積極的に応えていくためにも組織改革を行い、より一層の経営改革へとつなげていきます。

わたしたちに与えられた使命を改めて創設の理念とともに胸に刻み、確固たる信念をもって事業の継続性と可能性へのチャレンジを行う一年といたします。

2020 年度決算概況

(2021年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	335,758	流動負債	86,587
現金預金	246,872	事業未払金	20,174
事業未収金	85,739	短期設備資金借入金	51,312
未収補助金	231	前受金	275
立替金	1,528	賞与引当金	14,826
前払費用	1,388	固定負債	1,105,064
		設備資金借入金	1,088,164
		退職給与引当金	36,900
		負債の部合計	1,191,651
固定資産	1,927,384	純資産の部	
基本財産	1,402,957	基本金	815,533
土地	534,814	国庫補助金等特別積立金	279,171
建物	868,143	その他の積立金	183,616
その他の固定資産	524,427	次期繰越活動増減差額	△ 206,829
建物付属設備・構築物	187,745	(うち当期活動増減差額)	8,986
車両運搬・器具備品等	14,818		
投資有価証券	100,000		
積立資産等	220,556		
その他の固定資産	1,308	純資産合計	1,071,491
資産の部合計	2,263,142	負債及び純資産の部合計	2,263,142

事業活動計算書の要旨

資金収支計算書の要旨

(自)2020年4月1日 (至)2021年3月31日

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
介護保険収益	471,745	介護保険事業収入	471,745
老人福祉事業収益	80,340	老人福祉事業収入	80,340
就労支援事業収益	254	就労支援事業収入	254
障害福祉サービス事業等収入	67,910	障害福祉サービス等事業収入	67,910
医療事業収益	4,453	医療事業収入	4,453
その他事業収益	303	その他事業収入	303
寄付金収益	2,844	寄付金収入	2,844
サービス活動収益計	627,849	受取利息	573
人件費	413,854	その他収入	1,892
事業費	80,048	事業活動収入計	630,414
事務費	57,240	人件費	411,941
就労支援事業	1,413	事業費	80,048
利用者負担軽減	145	事務費	57,240
減価償却費	68,362	就労支援事業	1,413
国庫補助金積立金取崩額	△ 9,100	利用者負担軽減	145
サービス活動費用計	611,962	支払利息	9,323
サービス活動増減差額	15,887	その他支出	81
サービス活動外収入	2,565	事業活動支出計	560,191
サービス活動外支出	9,447	事業活動資金収支差額	70,223
サービス活動外増減差額	△ 6,882	施設整備等収入	503
經常増減差額	9,005	施設整備等支出	56,128
特別収益	536	施設整備等資金収支差額	△ 55,625
特別費用	555	その他活動収入	3,004
特別増減差額	△ 19	その他活動支出	6,159
当期活動増減差額	8,986	その他活動資金収支差額	△ 3,155
前期繰越活動増減差額	△ 212,816	当期資金収支差額	11,443
当期末繰越活動増減差額	△ 203,830	前期未支払資金残高	303,866
次期繰越活動増減差額	△ 206,830	当期未支払資金残高	315,309

社会福祉法人るうてるホーム 第3期中期経営計画（2021～2026）

2020年11月27日理事会において制定

経営方針	課題項目	計画内容
人材育成・確保	人材育成	人材育成計画を個別に作成し、それに基づいた研修を実施する
		人材アセスメント力の向上のための管理者の育成を行う
	人材確保	大学・専門学校・高校との連携を強化し、情報収集を行うとともに法人からの発信力を高める
		養成校との連携を強化し、専門性の魅力を伝えていく
		実習担当者の育成と法人内連携をすすめ、実習受け入れ環境を整備する
	人事制度	人事評価制度のさらなる充実を図る
個別キャリア形成につながる、るうてるホームのキャリアパスを構築する		
地域貢献・連携	地域連携	地域とのネットワークを構築し、防災拠点としての機能を強化する
	地域貢献	地域における公益的取り組みを検討し実施する
		様々な事情により社会参加が困難な方々への支援を行う
サービス向上	理念の具現化	理念に基づく「るうてるケア」について研究し、目に見える形で共有・継承していく
		スピリチュアルケアを通じた理念の実践
		キリスト教関連団体との連携を通じて理念の理解を深める
		理念に基づくミッションの実現のためにチームるうてるを築く
	リスクマネジメント	事故・苦情などの意識を高め、迅速な解決に向けて質の高い対応ができる体制を強化する
組織強化	魅力ある職場環境	職員満足度の状況を把握し、職場環境の改善や福利厚生の実現を図る
		多様な働き方のできる人事制度の実現
		キャリアアップを図りながら長く働けるよう、資格取得に向けたバックアップ体制を拡充する
リスクマネジメント	災害時の事業継続計画の策定	
新規事業・施設整備	新規事業	障害福祉分野での新規事業への取り組みをすすめる
	施設整備	大規模修繕に向けた積立金の積み立て
		既存事業について定員等を見直し、ニーズに合った展開を行う
		訪問看護事業の復活
経営基盤安定化	計画的な収支の実施	コスト意識をもって適切な支出となるよう事業ごとに目標を設定する
	財務状況の把握	確実な収入確保の仕組みづくりによる収益力の向上
		収入に対比した適切な人件費を目指す

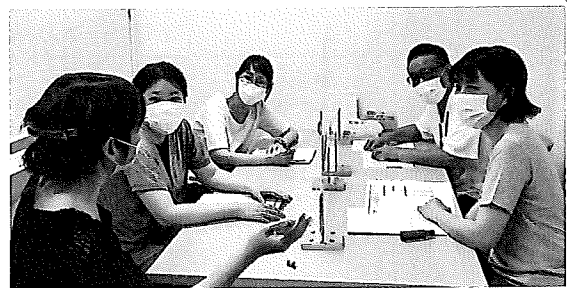
2021年度より第3期中期経営計画がスタートしました。少子高齢化や人口減少がすすみ、社会情勢がめまぐるしく変化する中、るうてるホームのすべての事業において継続的に安定したサービス提供をするとともに、将来的なビジョンをもって事業を展開していく必要があることからこの中期経営計画は策定されました。中期経営計画は、人材確保・育成、地域貢献・連携、サービス向上、組織強化、新規事業・施設整備、経営基盤安定化という六つの経営方針に基づき、26の計画項目が設定されています。

今期計画の特徴は、事業部長や幹部候補の主任など事業運営を担う職員が参画して策定したことです。研修からスタートし、SWOT分析（事業環境を踏まえ法人の強みや弱み、課題を明らかにするもの）や第2期中期経営計画の評価を行ったうえで何度も話し合いを重ねて計画を策定しました。

現在は中期経営計画の1年目としてそれぞれ取り組みが始まっていますが、さらに中期経営計画の内容を具体化するべく、計画策定メンバーで議論を深

めているところです。計画期間である6年というスパンを意識することは難しいのですが、計画の策定に携わったことで中期経営計画が自分事となり、前向きに議論できています。また、議論のプロセスにおいて着実に共通認識をもてるようになってきています。

今後はさらに計画をすすめ、様々な取り組みに向けてるうてるホームの内外でチームづくりをしていくこととなります。法人の置かれた状況は決して楽観視できませんが、危機感をもちつつも楽しみながら「私たちの計画」を推進していきたいと考えています。



後援会ご献金感謝報告

2020年4月から2021年3月までの献金総合計は、2,844,400円ございました。多額のご献金に感謝申し上げます。

今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。